

2008年(平成20年)9月19日<金曜日> 日刊

詳 報 第3回建設



ランナーフォーラム

⑥

アグリビジネスを成功させるキーワードは「技術」と「販路」。質の高い農作物を生産し、それを販売しなければならぬ。二つの問題をクリアすることで、成功への道が開ける。

●アグリビジネス分科会 I

コンサルタント契約を締結した経緯などを説明。栽培技術も先駆者と業務提携し、管理型生産が可能なア

谷組(北海道下川町)は、特定法人貸付事業(農地リース)を活用し、町内の建

谷専務は、農業分野進出のポイントを「地元農家に脅威を与えてはいけない。

「温泉熱を利用したハウス栽培」

高山市の奥飛騨温泉郷栃尾に本社を置く農業生産法人フルジックの渡辺祥二社長は、地域資源である温泉に着眼した。「重油を使用しなければ、地球温暖化対策にもつながる」

技術と販路が成功のカギ

わさび栽培に乗り出した昭栄建設(盛岡市)の横澤昭栄社長は、綿密な市場調査を行い、一つの結論を得た。「わさび市場には、大企業が参入していない。特



ブルーベリーのアクアポット(堀内組)

気温や水質条件が合致すればどこでも栽培が可能だという。収穫までの期間も従来の自然栽培より短縮でき効率的だ。栽培装置はプラスチックの再利用品。「リサイクルにも貢献している」と横澤社長。

日本には建設業が必要です